

オリヒメの成果報告

効果検証委 来年度継続へ議論

分身ロボット「Ori Home（オリヒメ）」を使った学習支援の効果検証委員会が28日、米子市内で開かれた。昨夏の導入から約1年が経過し、活用する3校での成果や、来年度の継続について関係者が話し合った。オリヒメは上半身だけの小さな人型ロボットで、カメラやマイクを搭載し遠隔操作が可能。学校に運ばなくて

も友達と交流できるため、県立鳥取養護学校▽県立吉生養護学校▽米子市立就將小学校に導入された。

会議では3校の担当者らが、児童への影響や現状を発表。このうち、鳥取大医学部付属病院の院内半級で使用

する就將小では、今年度は不登校傾向の児童が通う教室でも使用しているといい、このほかに病室と院内半級を

結ぶ試みも予定する。個々の状態に合わせた使い方で、子どもたちが人とのつながりを保てるよう取り組んでい

ると報告した。

また、現在受けている日本財団からの助成が今年度で終わる。そのため、県への予算要求や基金を創設するな

どの方法を検討し、来年度以降もオリヒメを

た。【小野まなみ】

【小野まなみ】

【小野まなみ】

【小野まなみ】

【小野まなみ】

【小野まなみ】

【小野まなみ】

【小野まなみ】

【小野まなみ】

【小野まなみ】

【小野まなみ】

【小野まなみ】

【小野まなみ】

【小野まなみ】

【小野まなみ】

【小野まなみ】

【小野まなみ】

【小野まなみ】

【小野まなみ】

【小野まなみ】

【小野まなみ】

【小野まなみ】